

報道機関各位

長岡市福祉保健部長寿はつらつ課長




地域活動の「担い手不足」を社会心理学の観点から探る 住民の生活支援に関する市民セミナーを開催

長岡市は、地域包括ケアの推進に向け、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進していくため、生活支援体制整備事業を実施しています。

今回は、地域福祉活動を取り巻く人口減少・担い手不足といった課題を踏まえ、「なぜ、日本人は協力しなくなったのか ～社会心理学を学ぶ、令和の地域づくり～」をテーマに市民セミナーを開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ周知にご協力いただくとともに、取材くださるようお願いいたします。

生活支援体制整備事業市民セミナー 「なぜ、日本人は協力しなくなったのか ～社会心理学から学ぶ、令和の地域づくり～」

- 日時 9月9日（土）午後2時～4時
- 会場 長岡リリックホール シアター
（長岡市千秋3丁目1356番地6）
- 内容 (1) 基調講演
講師：玉川大学脳科学研究所 教授 高岸 治人 さん
(2) 地域活動の事例発表
・富曽亀コミュニティセンター
・HappyKITCHEN はぴきち
(3) 意見交換
講師、事例発表者、生活支援コーディネーター
- 定員 400人（先着） 参加費無料
- 申し込み 9月7日（木）までに下記サイトまたは電話（0258-39-2268）などで
<https://logoform.jp/form/P5EF/290612>

▼詳細は下記サイトから
<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/fukushi/cate08/livelihod.html>
- 主催 長岡市・長岡市社会福祉協議会

問い合わせ：長寿はつらつ課 五十嵐
TEL 0258-39-2268

昔の日本人は
あたたかかった…?



担い手が少ない…
交代してくれる人が
いない…



昔は、もっと
近所の助け合いが
あったのになあ…



なぜ、 日本人は 協力しなくな ったのか

先着定員
400名

参加
無料

～社会心理学から学ぶ、令和の地域づくり～



「地域での支え合いが大切」なんて言うけれど…
積極的に関わる人は、
減少しているのではないだろうか。
現代の日本社会を、
社会心理学的な視点で眺めてみませんか。

令和5年 **9月9日** 土

午後2時から午後4時まで(開場:午後1時30分)

会場 **長岡リリックホールシアター**
(長岡市千秋3丁目1356番地6)

内容

① 基調講演

講師

玉川大学
脳科学研究所
高岸 治人 教授



2011年北海道大学大学院文学研究科で博士号を取得。日本学術振興会特別研究員(PD)、玉川大学脳科学研究所助教・准教授を経て、2023年度より現職。専門は、社会心理学。著書(分担執筆)は「進化と心の科学で学ぶ人間関係の心理学」「情動と犯罪」等。NHK総合「ヒューマニエンスQ」出演。

② 地域活動の紹介・意見交換

地域活動の実践者、
生活支援コーディネーター、講師

「広がる輪、子ども食堂はみんな食堂」
HappyKITCHENはぴ吉(みんな食堂)

「人をつなげる場所づくり」
富曾亀コミュニティセンター

申込先 長岡市長寿はつつ課

電話 **0258-39-2268** (平日 午前8時30分～午後5時15分)

FAX **0258-39-2603** メール haturatsu@city.nagaoka.lg.jp

※FAX、メールの場合は、氏名・住所・電話番号・「9月9日市民セミナー聴講希望」と明記してください。

右のコードを
読み取って
申し込みください。



<https://logoform.jp/form/P5EF/290612>

主催 長岡市・長岡市社会福祉協議会

協力 関係者ネットワーク会議



この事業の経費の一部には赤い羽根共同募金の助成金を充てています。